

【奨励賞】

農福医連携による持続可能社会創生の提言

関西医科大学 医学部 三浦 雅郁

// 緒方 隼

(要旨)

人口減少が進む中、労働集約型産業である農業・福祉・医療産業は、転機を迎えている。また、これらの産業には、補助金が多額に投じられており、経済的な維持負担も大きい。

こうした中、本論文では、農業・福祉・医療産業を地域の社会的基盤として捉え直す「農福医連携による持続可能社会創生プロジェクト」の導入を提言する。地域の農協・福祉事業所・医療機関とを緊密に結びつけることで、福祉事業所主体の小規模農場で気候変動に対応した農業の確立を目指す。

本提案の実現には、相応の初期投資が必要であるほか、地域の実情に照らした綿密な計画策定が肝要であることから、地方金融機関・行政による支援と協力は不可欠であるものの、地域の新しい社会基盤づくりや地方人口減少の歯止め、福祉予算と農業予算の効率的な配分・活用などが期待できる。